

2020年 秋の特別展

# TABOO

【タブー】

— 発禁の誘惑 —

2020年9月12日(土)～12月6日(日)

日本を代表する文豪・谷崎潤一郎。その生涯は80年にも及び、作家としてのキャリアも半世紀をこえる。

その間、時々のタブーとしばしば危うい摩擦を引き起こし、時には発禁の憂き目にあいながらも、歴史の荒波と社会の転変を、物書きとして見事に掻いぐり生き延びてきた。

谷崎が直面したタブーとのジレンマ「発禁の誘惑」と、その背景を浮き彫りにしていく。



「細雪」第一回(右)・第二回(左)が掲載された雑誌『中央公論』。第三回からは「自衛」による「中断」という、実質的な「発禁」扱いとなった。

## 秋の特別展 展示資料紹介

谷崎訳「源氏物語」の刊行は、昭和14～16年。戦時下の世の中、場違いな優美を極めたこの古典は、「天皇家の不倫」というタブーをも抱え込んで発禁となることが予想された。谷崎は、その難局をどう掻いぐったのか…。



『潤一郎訳源氏物語』  
限定500部黒漆箱特装版  
今回展示するのは、「細雪」の主人公「雪子」のモデルになった女性に贈られたもの

## 秋の特別展 関連講座

学芸員が語る秋の特別展

### 『タブー ～発禁の誘惑～』

表現者であれば誰もが直面する「発禁の誘惑」。文豪谷崎も例外ではありませんでした。学芸員が、その事情と背景を、わかりやすく解説します。



その表現が「猥褻」であるとして、国会でも問題となった『鍵』(昭和31年、中央公論社)

- 日 時 / 10月25日(日) 午後2時～3時
- 場 所 / 当館講義室
- 講 師 / 井上勝博(当館学芸員)
- 定 員 / 20名(要予約)
- 持ち物 / 筆記用具

※入館料のみで受講いただけます。

## 特別講座

### 堀江珠喜講演会 三島由紀夫没後50年 『耽美主義への誘惑 谷崎～三島由紀夫』

『「人妻」の研究』(ちくま新書)などの著書のある堀江珠喜・大阪府立大学名誉教授(英文学・比較文学)が、日本の耽美主義をひも解きます。

- 日 時 / 11月29日(日) 午後2時～3時30分
- 場 所 / 芦屋市立美術博物館 講義室
- 講 師 / 堀江珠喜 大阪府立大学名誉教授
- 定 員 / 先着30人(要予約)
- 受講料 / 1,000円(入館料込み)

※美術博物館は展示入替期間中のため、谷崎館の入館料となります。



## ロビーパネル展

### 『文豪の顔 ～陰翳の肖像～』

写真を撮ることも、撮られることも好きだった谷崎潤一郎。79年にわたる人生、「文豪の顔」に浮かび上がる光と陰は何を物語る？

- 日 時 / 9月12日(土)～12月6日(日)

※入館料のみで観覧いただけます。



文壇デビュー頃の谷崎潤一郎

## 芦屋市谷崎潤一郎記念館

Tanizaki Junichiro Memorial Museum of Literature, Ashiya  
〒659-0052 兵庫県芦屋市伊勢町12番15号 TEL.0797(23)5852 FAX.0797(38)3244  
E-mail: ashiya-tanizakikan@shopro.co.jp ホームページ: https://www.tanizakikan.com